

西東京市企画部企画調整課御中

「西東京市第2次基本構想・基本計画案 中間のまとめ」へのパブリックコメント

1. 住所：188-0012 西東京市南町5-25-15
2. 名前：富沢木實（とみさわ このみ）

【コメント箇所1】

- 「6つのまちづくりの方向」の【みんなでつくるまちづくり】

《原文》

ラストの行「また、今まで以上に地域の視点を重視しつつ持続可能で自立的な自治体経営を進めます。」

《修正または追加》

「また、今まで以上に市の政策形成過程における市民参加の仕組みの充実と強化を図りつつ・・・」

《コメント》

【みんなでつくるまちづくり】として、①つながること、②人権の尊重、③地域の視点、持続可能、自立的が挙げられています。「地域の視点」というのが、「各コミュニティごとの違いを尊重する」という意味なら、原文の文面も活かしてよいと思いますが、「市民参加条例」にあるように、みんながつくるなら、市民がもっと政策形成過程に参加できることが重要と思います。「み1」には、そうしたことが具体的に書かれており、ここは、それで良いと思いますが、「み1」の内容を柱にも反映させて欲しい。

【コメント箇所2】

- 「6つのまちづくりの方向」の【創造性の育つまちづくり】

《原文》

最後2行「また、だれもが生涯にわたり学び、文化芸術に触れ、スポーツ・レクリエーションに親しむことのできるまちづくりを進めます」

《追加》

「市民一人ひとりが自分たちのまちをよりよくしていくためのアイデアを出したり、実行していけるまちづくりを目指します」

《コメント》

【創造性が育つ】として、①子供が健やかに育つ、②学校教育の充実、③安心して子育てできる環境は、良いと思いますが、④生涯学習で単に教養をつけたり、スポーツをして楽しむだけでなく、創造性を発揮して、まちを良くしていく「市民力アップ」を目指すことも大切と思います。

「み」が市民力で「創」が教育等、行政の組織に合わせてつくられているのかもしれませんが、まちづくりにも「創造性が育ち、発揮されて欲しい」と思います。

【コメント箇所3】

- 「み1-2-1」

《原文》

「まちづくりの先頭に立つ市職員の育成に努めます」

《コメント》

大変良いことと思います。合併のせいかこの10年間、職員は内向き（2つの文化の調整）になっていたように思います。合併しなかった他市では、職員がもっと自在に市民の中に入ってきて、それがまた職員のレベルを高めています。ぜひ、進めて欲しいと思います。個々の職員の問題もあるでしょうが、おそらく、庁内の文化、雰囲気外部活動に対して及び腰を良しとするものなのではないかと懸念します。一掃をお願いしたいです。

【コメント箇所4】

- 「み1-2-2」

《原文》下2行「新たな市民参加の手法についても検討を進めます」

《コメント》

是非お願いしたいです。現在の「市民参加条例」では、確かに、審議会への市民公募枠の確保、パブコメ、市民説明会、市民ワークショップが行われていますが、行政が用意したものに、意見を言うにとどまっています。

三鷹市のように、第三次基本構想を決める時には、白紙から市民に案を提案させたり、第四次以降は、市民会議（子育てなど）やコミュニティごとに案を出させるなどを行っています。「西東京市の市民参加条例」でも、審議会のほかに、附属機関等とあって、懇談会なども想定されているようです。ですから、こうしたより市民目線を活かした市民参加の手法を検討、実験して欲しいと思います。

【コメント箇所5】

- 「創1-3-5」「家庭の教育力の向上に努めます」

《コメント》

うまく書きづらいところなのかもしれませんが、行政が何をなさるのか、良くわかりません。

【コメント全般1】

- 総花的に、バラ色の夢が描かれています。が、一方で、財政的に厳しいので「選択と集中」をせざるをえないとも書かれています。バラ色の夢までは、市民は、コメントできますが、それが具体的な実行と結びつくのかが分かりません。「実行計画」は「予算」との兼ね合いで、どれだけ実施できるかのお金のことのみ書かれており、市民に

とって、何を「選択」し、何を「削った」のかが読み取れません。「実行計画」を策定した折にも、財政がこのように厳しいので、この 3 年間は、これを削りますなどと示し、パブコメできるようにするなどがないと、この基本計画にパブコメしても空しい感じが拭えません。

【コメント全般2】

- 一般的に、新たな長期計画を策定するのであれば、前 10 年間は、どういう計画で、それがどのくらい達成されたのか、達成されなかった理由は何か。今後 10 年間は、達成されなかった理由が解消するので、こうなる（あるいは、さらに環境が悪化するのでこうなる）といった総括があるかと思うのですが、それが無いので、この計画を拝見しても、雲を掴むような感じで判断しかねます。「中間」が「本文」になるときには、そうした総括が載るのでしょうか。また、前 10 年間の財政の枠組みがこうだったが、今後は、こうなるなどの枠組みも書かれていません。
- 『合併の歩み』に、これまでの財政のことは、書かれていますが、市民がそこまで読み込むのは、難しい。この冊子にそうした大枠の流れも書いておくべきと思います。

以上